

第8回千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 専門部会 概要

1 日時 令和2年7月21日（火）18:00～20:05

2 場所 千葉県庁本庁舎5階 特別会議室

3 委員（敬称略・外部委員につき五十音順）

| | |
|--------|------------------------|
| 猪狩 英俊 | 千葉大学医学部附属病院 感染制御部長 |
| 入江 康文 | 公益社団法人千葉県医師会 会長 |
| 亀田 信介 | 一般社団法人日本病院会千葉県支部 支部長 |
| 神山 潤 | 東京ベイ・浦安市川医療センター 管理者 |
| 小森 功夫 | 松戸市立総合医療センター 副院長 |
| 角南 勝介 | 成田赤十字病院 病院長 |
| 寺口 恵子 | 公益社団法人千葉県看護協会 会長 |
| 中村 朗 | 総合病院国保旭中央病院 化学療法科 院長補佐 |
| 西牟田 敏之 | 公益社団法人千葉県医師会 公衆衛生担当理事 |
| 馳 亮太 | 成田赤十字病院 感染症科部長 |
| 宮崎 勝 | 国際医療福祉大学成田病院 病院長 |
| 山本 修一 | 千葉大学 副学長 |
| 石川 秀一郎 | 千葉県衛生研究所 所長 |
| 山崎 晋一郎 | 千葉県病院局長 |

4 関係機関等

| | |
|--------|-----------------|
| 大塚 正毅 | 千葉市保健所 所長 |
| 筒井 勝 | 船橋市保健所 所長 |
| 檜舘 洋子 | 船橋市健康政策課 課長 |
| 戸来 小太郎 | 柏市保健所 保健予防課 課長 |
| 広木 修一 | 柏市保健所 保健予防課 専門監 |
| 松本 尚 | 千葉県災害医療コーディネーター |

吉村 健佑 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター
センター長

5 県側出席者

| | |
|-------|-------------|
| 加瀬 博夫 | 健康福祉部長 |
| 渡辺 真俊 | 保健医療担当部長 |
| 中村 勝浩 | 健康福祉部 次長 |
| 石出 広 | 健康福祉部 次長 |
| 内田 信 | 健康福祉部 参事 |
| 久保 秀一 | 健康危機対策監 |
| 井上 容子 | 健康福祉政策課長 |
| 横田 裕之 | 健康福祉政策課 副参事 |
| 舘岡 聰 | 疾病対策課長 |
| 田村 圭 | 医療整備課長 |

6 議題に係る主な意見等

○新たな病床計画の確定と公表について

- ・県のホームページで、医療圏ごとの現時点でのフェーズの状況が色分けなどでわかると、病院内での理解が進むと思う。
- ・現時点でクラスターが発生すると、病床が足りなくなる。新たな病床計画は8月1日から運用開始とのことであるが、速やかに開始してほしい。

○医療調整本部の再稼働について

- ・病院内でクラスターが発生した際、そのうち何名かを別の医療機関に転院させるのは構わないが、症状の重度・軽度を問わず、PCR検査で陽性になった人全員が別の病院への入院を求められると、一気に病床がなくなる。
- ・感染が発生した所はパニックになっているので、それをサポートしながら、ある程度、施設内で診てもらうことがよいのではないか。
- ・軽症者の入院は、保健所で管外への入院も検討いただき、管内を軽症者で埋めないことが大切。
- ・4月の頃と比べ、病床は一定程度あるが、搬送手段が不足していると思われる。せつかく入院先が決まっても、実際に入院するのは翌日などになっている。搬送体制の強化が必要。
- ・若い患者が多いことなどから、車を持っていないことが多く、搬送需要が高まっている。

○臨時の医療施設について

- ・幕張メッセ以外の選択肢として、病院丸ごとの専門化や、休床の病床の利用なども考える必要があるのではないか。
- ・フェーズ4の段階から、臨時の医療施設のことを検討していくことが必要ではないか。
- ・軽症、中等症の患者を一括してたくさん入院させることができる病床があるという手段を持っていると、病床確保の観点で余裕が出てくると思う。

○クラスター等対策チーム派遣実績について

- ・クラスター等対策チームへの派遣について、フルタイムでと言われると難しいが、短時間であれば対応できる者は多いと思う。
- ・感染管理については、経験がないと、実際に現場に行っても何をしてよいかわからない。派遣者の教育という観点も兼ねて人員を選定してもよいのではないか。
- ・コロナが長期化するものだとすると、基幹病院だけではなく、その他の中小病院にも協力の範囲を広げてもらえればよい。
- ・急性期病院では十分に研修をしているが、それでも不安なところはある。施設など、医師、看護師以外の他の職種もいるところであればなおさらである。こうした施設には、継続して入っていかないといけないと思う。
- ・中小病院について、コロナ患者だけを受け入れる専門病院化すると、病院のスタッフに短期間で教育ができ、今回のように急ぎ対応が必要な状況では効果的である。

○夜間輪番病院の整備について

- ・夜間輪番は大切な仕組みであるが、大掛かりな話になるので、適宜見直しを含めた検討も必要である。

○その他

- ・医療情報の報告について、様々なシステムがあり、内容も重複するなど、病院の手間になっている。特に患者が増えてくると、より厳しい状況になってくると思う。
- ・医療機関と県庁、保健所が共有するシステムがあるとよい。
- ・医療機関にとって、入院は大きな手間がかかる。無症状や軽症者について、「とりあえず入院」というのは避けてほしい。